

われんきゃがいど

魅力伝える 担い手育成

11月中旬、宇検村の業が行われていた。ふ田検中学校では、動物のふんを題材にした授業となっている野生動物

来春の国立公園指定と2018年夏の世界自然遺産登録を控える奄美大島や徳之島で、貴重な自然や保護に向けた課題などを授業で取り扱う小中学校が増えている。ふるさとの宝を守り魅力を発信する、将来の担い手となる子どもたちの意識醸成や、郷土愛育成につながるのが狙いだ。

「世界遺産

奄美、徳之島の小中学校



平成28年11月17日(土)われんきゃガイドリハーサルの記事
南日本新聞

したネコ(ノネコ)の夏休みは、集落内のネコを観察し、取集した洗浄処理し、この中から希少なケナガネズミやトゲネズミの毛、骨などを見つけた。授業は今年4月から始まった。田検中ネコは「話には聞いていたが、ノネコが貴重な動物を本当に食べてい

【第3種郵便物認可】

児童生徒が史跡巡り



郷土の魅力体感

集落ガイド目指し学習

【徳之島徳之島町の手々小中学校(宇嶺寛島校長)の児童生徒11人は9日、集落内の史跡などを巡る「手々あるき」を行った。地元ガイドを講師に、伝説の英雄ゆかりの地を訪ねて地域の歴史を学び、郷土の魅力を体感した。児童らは2016年度中に集落マップを作成し、ツアー客を募って集落を案内するガイド役に挑戦する。

徳之島・手々小中

平成28年7月9日(土)ガイド体験の記事
南海日々新聞

同日の「われんきゃガイド育成事業」の一環、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向けて、子どもたち(われんきゃ)が島の自然や文化を理解を深めて郷土愛を育み、エコツアーガイドの育成と地域活性化につなげようとする。同校をモデル校に、児童らを対象にしたガイド養成講座や自然観察会などを計画している。

「手々あるき」は午前9時に学校をスタート。政武文さん(63)が、集落内のコースを約2時間かけて散策した。児童らは郷土の風景を楽しみながら、琉球支配下の16世紀に活躍した一握大八や、その名手政勝ら手々の伝説の英雄の足跡を

たどり、先人の歴史に思いを寄せた。小学4年の中島凛さん(9)は「普段は意識して見ていないけれど、景色がきれいだったので、もっと集落のことを知ってガイドできるように頑張りたい」と話した。

平成28年度より、校区内の史跡等を来島された皆様方に御紹介する「われんきゃガイド」の学習を行っております。この活動では、トライアスロン大会に出場されたアスリートの皆様方と交流をさせていただきました。

